

# THE PADI AWARE

財団

FAQs



**PADI AWARE**

F O U N D A T I O N <sup>TM</sup>

# Project AWAREから PADI AWARE財団へ

Project AWARE®とPADI®は、30年以上にわたる豊かなパートナーシップを築いており、水中世界の保護のために独自のメッセージを発信してまいりました。

パートナーシップと保護へのコミットメントを深めるために、PADIとProject AWAREの関係を進化させ、新たにPADI AWARE財団としてスタートすることになりました。私たちは共に力を合わせればより強くなれることを知っています。PADIメンバーとProject AWAREサポーターの力を結集させることで、PADIグローバル・ダイブ・コミュニティを海洋保護活動のリーダーとして確立することを約束します。

コンテンツ

## コンテンツ

- 1.なぜProject AWAREはPADI AWARE財団になるのですか？
- 2.Project AWAREからPADI AWAREへの移行により、何が変わり、何が継続されるのでしょうか？
- 3.既存のProject AWAREプログラムはどうなりますか？
- 4.海洋保護のゴールは変更されるのでしょうか？
- 5.100%AWAREパートナーやグリーンスター受賞のPADIリテール&リゾートメンバーにとってはどのような意味があるのでしょうか？
- 6.PADI AWARE財団の資金はどう募られ、また、これまでの寄付金はどうなるのでしょうか？
- 7.なぜPADI AWARE財団に寄付するべきなのでしょうか？
- 8.PADI AWARE財団のコミュニケーション・プラットフォームはどのようになりますか？
- 9.PADI AWAREのロゴやマーケティング・ツールはどこで入手できますか？

**Q1: なぜProject AWAREはPADI AWARE財団になるのですか？**

A: パートナーシップを進化させ、海洋保護効果を高め、海を守るために10億人のトーチベアラー（海洋保護の志を持つ人）を生み出すというPADIのミッションに正式に参画するためです。新しいPADI AWARE財団は、PADIの強みである数的な力（世界中の128,000人以上のPADIプロフェッショナルのネットワーク）とProject AWAREの強みである海洋保護（30年にわたるプログラム開発と政策の専門知識）を組み合わせたものです。PADIのミッションは、PADI AWAREの保護プログラムと連携することで、かつてない規模の世界的なトーチベアラーのコミュニティを巻き込み、活性化させることとなります。

**Q2: Project AWAREからPADI AWAREへの移行により、何が変わり、何が継続されるのでしょうか？**

A: PADI AWARE財団は、法的に公的な非営利団体としての地位を維持し、世界的な海洋保護の慈善団体としての機能を継続します。一方でPADIとの運営、資金調達、ブランディングの統合が進み、組織の財政的安定性、コミュニティへのリーチ、プログラム規模の拡大が可能となります。

**Q3: 既存のProject AWAREプログラムはどうなりますか？**

A: PADI AWARE財団は、Project AWAREとして行われてきた30年間の活動を基礎としています。「Adopt a Dive Site」、「100% AWARE」、「サメとエイの保護」、「ダイブ・アゲインスト・デブリ」などの常設プログラムやキャンペーンは、グローバルなインパクトを与えるために地域の海洋活動を推進する、という組織の新しいミッションを実現するプログラムとして継続します。そしてこの取り組みを支援するために、PADI AWARE財団は6月にコミュニティ助成プログラムを開始します。またPADI AWAREは、PADIブランドのもと、気候変動、海洋生息地の損失、脆弱な種の保護などをテーマにした新しい保護プログラムやコースを拡大・開発していきます。

**Q4: 海洋保護のゴールは変更されるのでしょうか?**

A: PADI AWARE財団の海洋保護活動は、Project AWAREのClean and Healthy Ocean戦略に支えられています。この枠組みの下でのすべてのプログラムは、国連の持続可能な開発目標（SDGs）のコミットメント、特にゴール14「海の豊かさを守ろう」に向けた各国の実施を支援します。PADIとPADI AWARE財団のパートナーシップは、力を合わせることで、人類と海洋のバランスを実現するという共通のビジョンのもと、共同の海洋保護目標を設定します。

**Q5: 100%AWAREパートナーやグリーンスター受賞のPADIリテール&リゾートメンバーにとってはどのような意味があるのでしょうか?**

A: 100% AWAREプログラムとGreen Star Awardの両方とも、海洋保護目的を強化して再スタートします。詳細は2021年の第3四半期または第4四半期に発表される予定です。

**Q6: PADI AWARE財団の資金はどう募られ、また、これまでの寄付金はどうなるのでしょうか?**

A: PADI AWARE財団は、今後も皆様からの寄付による支援に大きく依存していきます。そしてPADIも、PADI AWARE財団の運営と活動を財政的に支援することで、そのコミットメントを強化しています。これまでのProject AWAREの下で発生したすべての寄付は、環境保護効果を十二分に発揮することができた各常設プログラムの確立に役立ってきました。ダイブ・アゲインスト・デブリなどの基盤となるプログラムは、PADI Blueprint for Ocean Actionで設定された保全目標を達成するための主要な推進力として今後も発展していくでしょう。

**Q7: なぜPADI AWARE財団に寄付するべきなのでしょう?**

A: 新たに設立された財団は、世界のダイビング・コミュニティの独自の力を活用して、地域的にも世界的にも具体的な保護成果を達成することに特化した唯一の環境非営利団体です。寄付者の皆様のご支援により、当財団は、海洋ゴミ、気候変動、生息地の破壊、脆弱な種の保護など、最も緊急性の高い海洋の脅威に対処するための保護活動、市民科学、提言活動を通じて、体系的な変化を推進していきます。

**Q8: PADI AWARE財団のコミュニケーション・プラットフォームはどのようになりま**  
**すか?**

A: Project AWAREに関連するすべてのコンテンツはPADIウェブサイト内に移管され、統合されます。その中でPADI AWARE財団は、独自のURL、独立したソーシャルメディア・チャンネル、PADIブランドの中での明確なアイデンティティを維持します。コンサベーション、インパクト・ストーリー、PADI AWARE財団固有のコンテンツは、PADIコンサベーション・ハブの関連セクションに統合されます。既存のコース資料やマーケティング・コミュニケーション資料は、新しいPADI AWARE財団のブランド・アイデンティティに合わせて更新、リブランディング、刷新した内容への置き換え等を進めてまいります。

**Q9: PADI AWAREのロゴやマーケティング・ツールはどこで入手できますか?**

A: PADI AWARE財団マーケティング・ツールキットには、新しいブランド・アイデンティティ・ガイドライン、承認されたロゴ、以前のProject AWAREのツールの代わりに使用される新しいマーケティング・ツールなどが盛り込まれます。ツールキットはPADIプロ・サイトにアップロードされ、マーケティング・リソース・ハブやその他のPADIコミュニケーション手段を通じてPADIメンバーに共有されます。